

令和3年7月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2021年6月次 月次概況（速報）のお知らせ

2021年6月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位：口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人（BtoB）	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位：口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	445	403	430									
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411									
外国為替取引口座数 (単位：口座)	342,801	343,397	343,817									
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	58,635	56,276	56,581									
一般顧客	57,068	54,786	54,965									
金融法人（BtoB）	1,567	1,489	1,616									
マネパカード口座数 (単位：口座)	161,712	161,526	161,301									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインネージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。

#### < 6月次の概況 >

6月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝109円台半ばで取引が始まり、堅調な米経済指標を背景に110円台前半まで上昇しましたが、4日に発表された米国非農業部門雇用者数が予想を下回った事で反落に転じ、7日には109円台前半の安値を付けました。その後は109円台前半から109円台後半のレンジで推移し、14日には米長期金利の上昇に伴い110円台前半まで回復しました。16日にはFRBがFOMCで2023年中にゼロ金利政策を解除する方針を示したことで、ドルが買われ110円台後半まで続伸した後、株下落によるリスクオフから円が買われ109円台後半まで下落しましたが、その後は上昇に転じ、23日には約1年3カ月ぶりに111円台を再現しました。その後は7月発表の米経済指標を控え110円台半ばから後半のレンジで推移し、111円台前半の高値で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、円安傾向での推移となった米ドル／円とは対照的に概ね円高傾向での推移となりました。外国為替相場の変動率は、米ドル／円の1日の平均値幅が0.532円（前月は0.564円）にとどまるなど、全体としては前月以上に著しく低調な水準となりました。

このような状況の中、前月に引続きパートナーズFXnanoにおいて、米ドル／円のスプレッドを時間限定でゼロ（売買同値）とするキャンペーンを実施いたしております。外国為替取引高は、パートナーズFXnanoにおける米ドル／円は増加したものの、全体としては、著しく低調な水準となった外国為替相場の変動率の影響を受け、前月比11%減少の734億通貨単位となりました。営業収益は、外国為替取引高は減少した一方でスワップ収益が堅調に推移したことでトレーディング損益が増加し、前月比6%増加の430百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に増加となり、全体では305百万円増加の56,581百万円となりました。

以 上